

## 乳児院収容児の退院3ヶ月後の追跡研究

○谷口喜久子 千羽喜代子 吉岡毅  
(都立母子保健院) (大妻女子大学) (都立母子保健院)

## -目的-

当院では収容児の保育管理の一環として、退院時の指導及び退院後の家庭指導を行なってい。そこで今回は、精神発達の至適觀察に引続き、退院3ヶ月後の指導に応じた家庭退院児(里親委託を含む)を対象として①在院中の問題の継続状況、②退院後の家庭への適応状態、③新しく生じた問題などの点から、乳児院収容児の保育管理及び退院時の指導内容に関する再検討を行なうこととした。

## -対象及び方法-

昭和40年1月から昭和43年12月末までに退院し、3ヶ月後の指導に応じた家庭退院児、男児51名、女児42名計93名(里子16名を含む)、退院時年令2ヶ月～2歳7ヶ月に対して、親子一縦に面接指導を行ない、その結果を整理した。面接は、それぞれの専門的立場から、医師、心理指導員、子どもの直接の保育担当者がたつてある。

## -結果-

## A) 在院中の問題の継続状況について

1) 未発児を除いても、suckingの頻度が高くなる。この内、帰宅後3ヶ月以内に28例(45%)が解消している。残りの34例(55%)は帰宅3ヶ月後においても今なお残存している。

suckingの解消率は年令が高くなるにつれて良好となっている。

2) 指から物へとsuckingが移行しているものが5%。又一度消えてから再びsuckingが生じるものが6%である。

これらの症例に関しては、家庭の養育状態などの裏から目下検討中である。

3) 帰宅後3ヶ月以上もsuckingが著明に行なわれている10例は、いずれも18ヶ月未満のものであるが、これは年令的特徴があるとみなしよいか、或いは何等かの養育上の問題があるのかについては、確かでない。

事例ごとの検討では、在院中のsuckingの状態が著しい事例は、帰宅後も継続している場合が多く見られる。

(表1) 入院中の問題の消長

項目	退院時	退院時より継続(=3ヶ月後)の問題					計	末院時(退院3ヶ月)の状態				
		6ヶ月未満	6~12M	12~18M	18~24M	24ヶ月以上		解消	著明	減少	移行	再出
sucking(吸允行動)	9	22	16	5	10	62	28	10	17	3	4	
rhythmic motor habits	6	6	1	2	15	15						11
大人への着い依赖	1	2	3	1	7	7						3
新しいものに慣れ難い	2	1	1	2	6	6						
人みる強度	1	3	2	2	8	8						
過食	1			1	1							
かみつき			1	1	2	1						
しつかり強		1			1	1						
自由的行動				1	1	1						
全般に本బリスの行動解明	4	5			10	9	1					
初期反応著明	3	1	1	3	8	8						
対象人数	16	29	23	8	17	93						

(表2) suckingの解消状況(I)

経過	件数	現在残っている状態		計
		状態	件数	
帰宅後全然	22	著明	10	
1ヶ月後	0	時々	5	
2ヶ月後	3	隔3ヶ月だけ	14	
3ヶ月後	1	乳首、動物	3	
手段を使う	2	痛い時、離婚	1	
計	28	計	34	

(表3) suckingの解消状況(II)

退院時	解消	解消以外の状態				計
		著明	減少	移行	再生	
6ヶ月未満	4	1	3	1		9
6~12M	9	6	5	1	1	22
12~18M	5	3	6	1	1	16
18~24M	3		1	1	1	5
24ヶ月以上	7		2	1	1	10
計	28	10	17	3	4	62

(表4) 帰宅後の適応状態

適応に用いた期間	引取先	退院時年月令別					合計	
		自宅	里親	6ヶ月未満	6~12M	12~18M	18~24M	
特に障害なし	36	5	14	15	4	4	4	41
1日～1週間	26	7	1	10	15	3	4	33
1週間～2週間	6	2		2	2			8
1ヶ月以上	6	1	1	1	2	1	2	7
不明	3	1		1			3	4
計	77	16	16	29	23	8	17	93

4) Rhythmic motor habitsは全例が帰宅後全く消失している。多くは、乳児施設から幼児施設へ措置変更を行なった場合、継続又は短期日のうちに再発し、その状態が著しくなることを報告しているが、この報告に比較すると、大きな相違はない。

5) 他の問題の大部分は、帰宅後ほとんどが解消しているが、3ヶ月後も引き続き問題を有する3例のうち、1例は子ども自身の問題と考えることができた。

しかし、2例は家庭の養育状態を検討しながら指導にあたらなければならぬ。

## B) 帰宅後の家庭への適応状態

子どもが新しい環境において日常生活に支障をきたさない状態を「家庭へ適応した」とする。

対象児の44%が特に支障もなく、家庭の環境に入つてから、そして約90%のものが2週間以内で家庭環境に適応してしまった。これを年令別にみると、1才未満児は1才以後の子どもよりも家庭適応は早い。家庭から乳児院に入院した際の初期反応が、1才未満児では入院児の半数に、1才児以上ではほぼ全員に認められたことと比較すると、家庭と施設との受け入れ体制の相異を知ることができる。しかし残る7名(8%)は家庭上適応するのに1ヶ月から2ヶ月以上を要した子が、これ等の者には、特に年令的な特徴は認められないため、何故に適応の期間が長くなるにつれて、入院中の養育状態や家庭の養育などにわたって、以下検討してある。

## C)帰宅後の状態及び新しく生じた問題

施設退院時から帰宅後まで引き続き継続している問題および帰宅後新しく生じた問題(表5)の通りである。

1)怖れに関するもののが57件を占め、最も多い物(主として乗物)・人(人みしりを含む)・家族になじまない・白衣を着た人がこわい等)・場所(トイレ、風呂、戸外をこわがす等)に怖れを示すもののが多いか、年令的な特徴は少ない。これは乳児院における経験の狭き、限られた生活環境などによるところが大きいと考えられる。又父親・母親・家族などに怖れを示し、安定するまでに期間を要する例もあるところから、家庭引取りが決った後の面会のあり方などについて検討しなければならない。

「母親から離れない」17件に関するでは、その程度、状態および経過によって指導を必要とする場合もある。

2)食事に関するもの18例、睡眠に関するもの4例は、これまでの生活環境および養育上の相異によるものと考える。

3)その他新しいsuckingとhead bangingの出現、新しい環境への不安感や緊張、施設入院時の初期反応と類似の症状を示していますが、これ等の症状の大部分は3ヶ月以内に消失している。しかし全例の約10%は退院3ヶ月後にも何等かの問題を残してしまった。

## E) 退院3ヶ月後の問題について

1)精神発達遅滞、言語上の問題、社会性、生活習慣にに関する訴えが多い。退院後3ヶ月においても、今までの継続および新しく問題となつているものもあり、退院後の指導を積極的に行なわなくてはならない。

(表5) 母親が訴えた帰宅後の問題

項目	件数	退院時年月令				合計	退院時との問題と比較しての 進行又は発達順位	
		6M以下	6-12M	12-18M	18-24M		件数割合	率
母親から離れない	1	2	9	1	4	17	依存	2.2:3
こわがるもの		2	5	3	5	15		
人		6	9	1	5	21	(人)	3.0:10
場所		3	6	1	6	16	トイレが怖い	1.1:2
動物				1	1	2	動物が怖い	1.1:1
音	1					1		
新しいもの				1	1	2		
食事 不振	2	2		2	6			
偏食		2	1	1	4	9	偏食	2.2:5
過敏な物質					1	1		
吐き気(嘔吐)	1	1				2	偏食	1.0:6
拒食			1			2		
空腹感強			1			1		
固形物吐食	1		1			2	固形物拒否	1.0:4
睡眠 不規則					3	3		
寝起き困难		1				1	枕しづら	1.1:3
Sucking(中指)	(5)	(12)	(9)	(2)	(3)	(31)	指(乳首)	1.0:10
Head banging	1	1				2		
夜泣	1	1	1	1	4			
かみつき				(1)	(1)	2	かみつき	1.1:8
トイレ取扱い					1	1	依存	1.2:7
泥遊び(大便)	1	6	5	3	15	3	泥泣く	1.2:6
過呼吸	2	2		(1)	(2)	4	自由的行動	1.2:10
緊張症	3	2	1	1	7			
不安感症	3		1		4			
はじめがおひ				4	4		*年令過度	
異常な甘え				1	1		離乳食拒否	
かきもちやき		2			2			
機械が悪い		1			1			
机の下隔けが弱				1	1	2		

(注) ( )は入院時より継続しているものの数。

(表6) 家庭退院児3ヶ月後の母親の訴え

項目	退院時年令別 件数	6M 以下	6- 12M	12- 18M	18- 24M	24M 以上	合計
		6M以下	6-12M	12-18M	18-24M	24M以上	
窮屈ちたい	1	3	1	1			6
言語のおくれ				3	1	4	8
運動力のおくれ	1	1					2
食事 不振		3				2	5
偏食	1		4	2	3	10	
からかわれる		1					1
態度	3						3
固形物吐食	1	1					2
離乳食拒否						1	
睡眠 睡ねかづき	1	1	1	1	1	4	
抱いたる(おひかわらわ)	1	1	1			3	
立		1					1
Sucking(心臓物)	7	15	12	2	3	39	
飛沫	2	5	1	2		10	
かみつき					1	1	
左利	3	1	1	2	7		
こわがる 人みしり	2	2			1	5	
排泄の場所			1		1	2	
動物					1	1	
新しいもの	1						1
音に敏感	1	2				3	
依存		2		1	5	8	
子供と離れない				1	1	2	
泣く(長時間泣き)	1	1			1	3	
寝ると長い				1		1	
おひねりとひどく寝る	2					2	
反抗的					1	1	
自由的行動						1	1
習慣、體の問題	2	2	1	1	1	7	
母が子供から離れない				1		1	